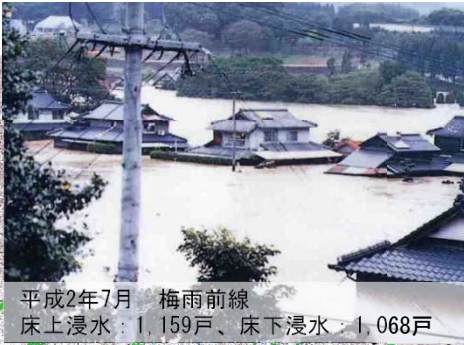
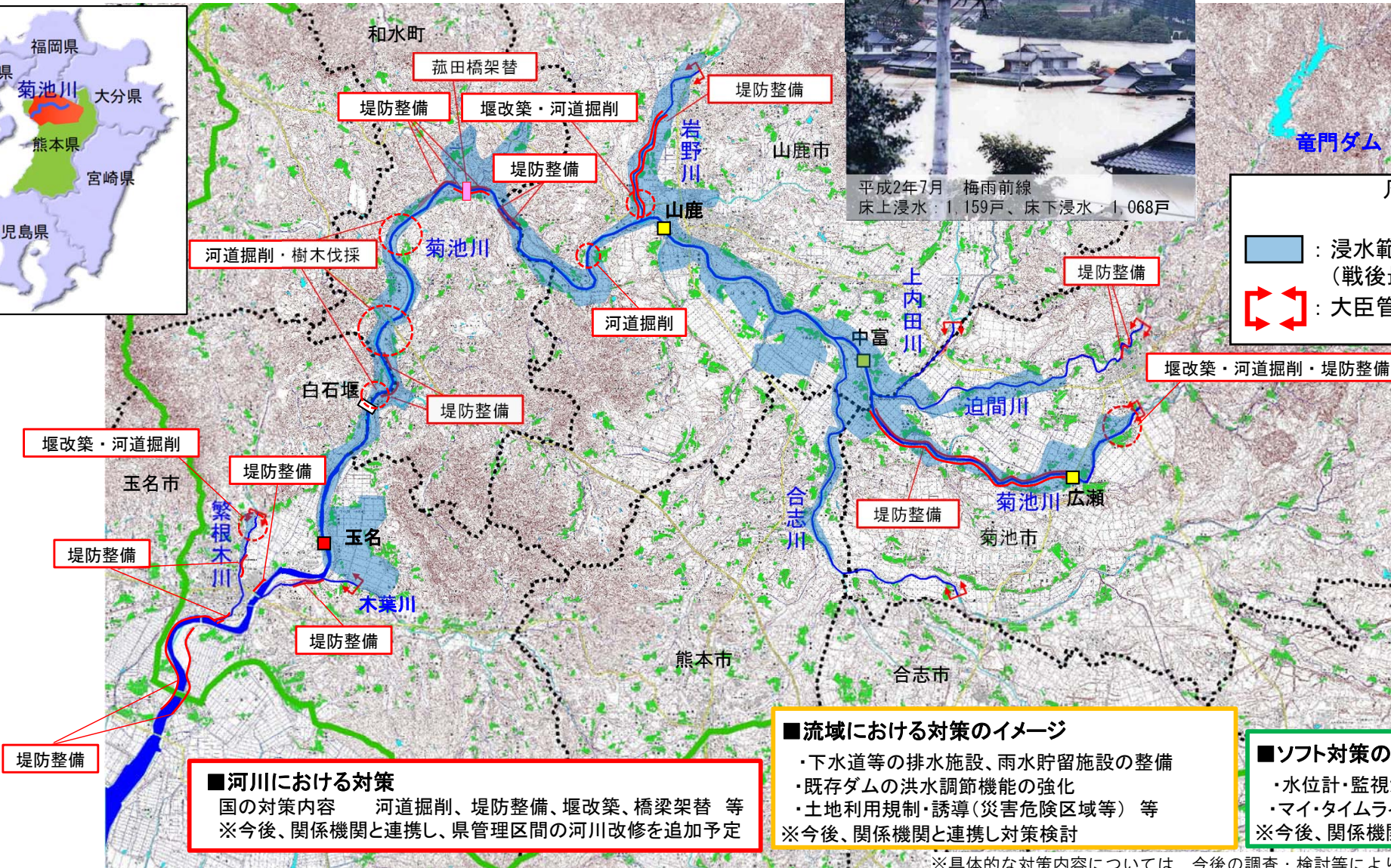
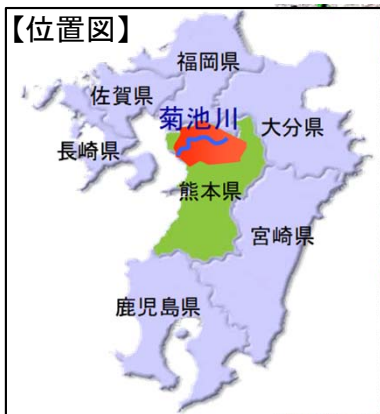


菊池川水系流域治水プロジェクト【素案】

～日本遺産「菊池川流域の米作り」の保全及び流域市町を水害から守る流域が一体となった防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、菊池川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、国、県、市町が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、戦後第2位となる昭和57年7月洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成2年7月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



凡例

- [Blue shaded area] : 浸水範囲 (実績)
(戦後最大のH2.7洪水)
- [Red double-headed arrows] : 大臣管理区間

■ 河川における対策
 国の対策内容 河道掘削、堤防整備、堰改築、橋梁架替 等
 ※今後、関係機関と連携し、県管理区間の河川改修を追加予定

■ 流域における対策のイメージ
 ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
 ・既存ダム洪水調節機能の強化
 ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等) 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ ソフト対策のイメージ
 ・水位計・監視カメラの設置
 ・マイ・タイムラインの作成 等
 ※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。